

ハンドボール

スローオプチーム

香川県



日本ハンドボール協会公式記録用紙

No. 24

No. B7

(16名用)

A	香川県	福島県	B
背番号	34	15	合計
	17	5	17
	17	10	10

大会名	第67回国民体育大会 きん清流国体		
平成24年10月5日(金)	場所	香川県 世界生活文化センター	
種別	少年	男	⑤ 回戦 第1回戦 準決 決 リーグ

A **中川** 7m TC **小 吳 泉 之** B

A 香川県	警 告	退 場	失 格	チームタイムアウト		得 点
				前半	後半	
役員A 田中 潤						14 31
役員B 馬場 文彦						
役員C 井上 里子						
役員D						
1 馬場 敦子						
2 福家 葉月					F	4
3 長尾 桃子				T		2
4 赤松 夏美				F		3
5 十河 優希				-		2
6 久原 祐希				ET	F	10
7 尾形 彩加				T	T	4
8 内海 菜保						
9 西谷 幸						
10 島山 明香					F	3
11 谷 華花				T	F	6
12 山内 亜美						
合計						17 17 34

B 福島県	警 告	退 場	失 格	チームタイムアウト		得 点
				前半	後半	
役員A 小保 宏之						10 37
役員B 植田 又美子						
役員C 谷村 学						
役員D						
1 菅野 遥						
2 佐原 奏生				T		2
3 鈴木 沙弥香					F	3
4 矢内 牙子						
5 上坂 果美						
6 富田 リナ				T	F	6
7 漆田 瞳						
8 今泉 かつ					T	2
9 相葉 霧華						1
10 森崎 優						1
11 齋藤 綾乃						
12 神野 杏樹						
合計						5 10 15

タイムキーパー 佐藤 睦 スコアラー 前田 有香

マッチメイカー 下村 寛 審判員 サイン 長瀬 翔 審判員 サイン 小 保 宏

前半				後半			
A	結果	得点	時間	B	結果	得点	時間
5	1	00	23				00
3	2	2	41		8	18	1
6	3	4	02		11	19	2
		5	53	1			2
		7	35	W			3
8	4	8	10		11	20	3
6	5	10	49		10	21	4
		10	57	①			5
3	6	12	32		11	22	5
11	W	13	13				6
11	7	13	59		11	23	6
8	8	14	43				7
5	W	16	26				7
11	9	17	44		10	24	8
4	10	19	32		5	25	10
		20	11	2			12
11	S	20	13		2	0	26
6	11	20	32		5	W	13
5	S	21	53				13
		21	58	3			14
		23	22	4			15
4	W	23	25		8	28	17
		24	03				17
6	12	24	03		2	0	29
4	13	24	39				19
4	14	26	57		10	30	21
6	15	27	25				21
		28	25	5			23
6	16	29	14				24
6	17	27	57				24
		28	25	5			10
		29	14				14
		32	26				54
		33	28				02
		21	20				13
		37	29				59
合計							34
合計							15

特記事項

17 - 5
34 - 15

ハンドボール

ぎふ清流国体ハンドボール競技

結果報告 No. 25

大会名	第67回 国民体育大会 ハンドボール競技				
競技日	10月5日 (金)	試合記号	Bア	回戦	1回戦
種別	少年女子	会場	飛騨・世界生活文化センター		
A (都道府県名)			B (都道府県名)		
香川			福島		
得点合計	小計		小計	得点合計	
34	17	前半	5	15	
	17	後半	10		
		第1延長 (前半)			
		第1延長 (後半)			
		第2延長 (前半)			
		第2延長 (後半)			
		7mTC			

【 戦 評 】

記載者氏名

高橋千津子

少年女子1回戦香川県5番十河が4番ポスト赤松のブロックを生かし、ミドルシュートを決め先制した。香川11番谷がフェイントからのカットインで飛び込むと、福島のゴールキーパー菅野がファインセーブで防ぎ、続く福島の速攻を香川のゴールキーパー馬場がファインセーブで防ぎ、両チームともゴールキーパーが固い守りを見せた。香川は、再三中央からサイドへとディフェンスの間を攻めてずらし、カットインやサイドシュートでノーマークのチャンスを作り、前半15分6対1とリードしゲームを有勢に進めた。福島もディフェンスから速攻、センター10番遠藤のフェイントから攻撃を組み立てようとするが、香川のディフェンスの強いプレッシャーにより攻めきれず、点差をつめることができない。一方香川は、11番谷が豪快なロングシュートを決めるなど、サイド・ポストを使い分けコンスタントに得点を重ねた。21分香川5番十河が退場すると福島はパワープレーで6番富田のサイドシュート2番佐原のポストシュートなどを決め追い上げるものの、終始香川がゲームの主導権を握り、前半は17対5で終了。後半8分、福島は8番今泉のミドルシュートなどで6得点を挙げるが香川も福島ディフェンスのつめが甘くなったのを見逃さず、11番谷や5番十河などがミドルシュートを決め、点差を広げた。劣勢の福島も最後まで集中力を切らさずに戦ったが、香川の両サイド6番久原と8番内海が合わせて14得点を挙げたのに象徴されるように、スピードある速攻と豊富な運動量で圧倒し34対15で香川県が準々決勝に進出した。